

# 「幼児期・児童期の音楽学習と幸福度やグローバルネットワーク 社会への適応力との関係性に関する調査」報告書

一般財団法人ヤマハ音楽振興会  
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 ヒューマンラボ

調査機関：株式会社アンド・ディ

(2017年1月)

## ■ 解説

モノの豊かさよりも心の豊かさを重視する人が増えている現在、世界中で盛んに幸福研究が行われています。

幸福学の研究は、主観的幸福研究と客観的幸福研究に分かれます。前者は、本調査で行っているように、人々に直接「幸せですか？」と主観的な思いを聞いたり、幸せに関する質問を行い、その結果を統計的に処理して議論する研究です。一方、後者は、友人の数、収入、家の広さなど、幸せと関係のありそうな指標について調査を行う方法です。

主観的幸福研究は、主観に依存するためばらつきが生じることもありますが、適切に統計データを用いれば有効な結果が得られます。一方、客観的幸福研究は、客観データを用いるので精度が高そうですが、そもそも、友人が多い人、収入が多い人、家が広い人が本当に幸せかどうかは、主観的幸福と比べてみなければ何とも言えません。このため、主観的幸福研究を基盤として幸福研究を行うことが、国際的にみても幸福学の主流となっています。

本研究では、現在の幸福度、生活満足度、多様性適応力などを主観調査することによって、子ども向けの音楽系の習い事などの経験の有無との関係性を分析しています。その結果、音楽系の習い事経験者は「幸福度や生活満足度が高い傾向がある」「学業成績が良いと自己評価する傾向がある」「多様性適応力が高い傾向がある」などの興味深い結果が得られています。

また、我々が行った幸福学の研究成果として、幸福に寄与する心的因子が「やってみよう！」因子（自己実現と成長の因子）、「ありがとう！」因子（つながりと感謝の因子）、「なんとかなる！」因子（前向きと楽観の因子）、「あなたらしく！」因子（独立とマイペースの因子）の4つの因子に集約できることが確認されています。

今回の調査では、音楽系の習い事経験者は、4つの因子のうち「ありがとう！」因子（つながりと感謝の因子）が高まる傾向が見られていますので、皆でともに音楽を学ぶことの効果が現れていると見ることができそうです。

多様性適応力とは、もともと、ブラインドサッカーのワークショップの効果を計測するために我々が開発した尺度です。これからのグローバルネットワーク社会において、多様な人がともに協創する際に必要な8つの能力を指標化したものです。その後、各種活動の効果測定に使用しており、幸福度との相関が高いことも確認しています。

今回の調査では、8つの能力要素のうち、7つの要素（挑戦意欲、俯瞰力、創造力、利他精神、許容力、信頼関係構築力、コミュニケーション力）において、音楽系の習い事経験者が高い傾向が確認できましたので、音楽を学ばなかに、このような能力が開発される可能性があると思われることができます。

一般的に、統計調査は因果関係が成立しているかに注意して結果をみる必要があります。

例えば「音楽系の習い事をする人の親は教育熱心なので、様々な習い事をさせているかもしれない。様々な習い事をしている人が幸福なのであって、その中の一つである音楽系の習い事をしていることが幸福に繋がっているのではないのかもしれない」という疑似相関の可能性をみる必要があります。今回は疑似相関を極力排除するため、中学校までの習い事の種類の数など家庭環境による影響が出ないように傾向スコア解析法により調整しています。

いずれにしても、統計調査では一般に「この調査の範囲では〇〇の傾向があった」までしか言えないとはいえ、習い事が幸福度、生活満足度、多様性適応力に影響するなどの興味深い結果を示唆する本調査は、幸福学の立場から見て、重要な知見が得られたと言えるでしょう。

慶應義塾大学大学院  
システムデザイン・マネジメント研究科  
教授 前野隆司

## ■ 参考 ～因果関係の成立条件～

因果関係が成立するかみるためには、二つの事象の間の時間的順序が正しいこと、二つの事象に影響する他の要因（交絡要因）による疑似相関がないことに着目します。

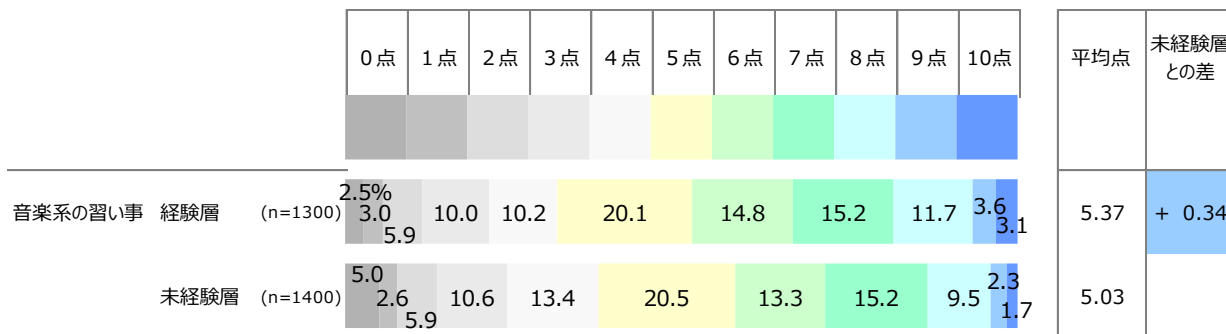
時間的順序が正しいこととは、まず原因があり、その後結果があることです。疑似相関とは、ある事柄とある事柄に相関関係があるようにみえて、実は別の事柄によっていたという現象のことです。たとえば、月別バーベキュー実施頻度と月別海難事故発生件数に相関があるからといって、バーベキューの実施が海難事故の原因とは言えないのと同じことです。ここでは「気温」が交絡要因となります。（前野教授）

● **幼児期・児童期の音楽系の習い事経験者は非経験者に比べて、大人になった現在において幸せであると実感しており、生活の満足度も高い。**

- 図1は、内閣府の国民生活選好度調査などで用いられる『幸福度』の指標を用いて、音楽系の習い事経験層と未経験層を比べて図示したものである。
- 平均点をみると、音楽系の習い事経験層は平均 5.37点であり、未経験層（5.03点）よりも0.34点有意に高く、音楽系の習い事経験層は経験していない層に比べて幸せであると実感している。
- 図2は、内閣府の国民生活に関する世論調査などで用いられる『生活満足度』の指標を用いて、音楽系の習い事経験層と未経験層を比べて図示したものである。
- 平均点をみると、音楽系の習い事経験層は平均 2.87点であり、未経験層（2.74点）よりも0.13点有意に高く、音楽系の習い事経験層は経験していない層に比べて現在の生活に満足している。

■ **図1 幸福度（全体／単一回答）**

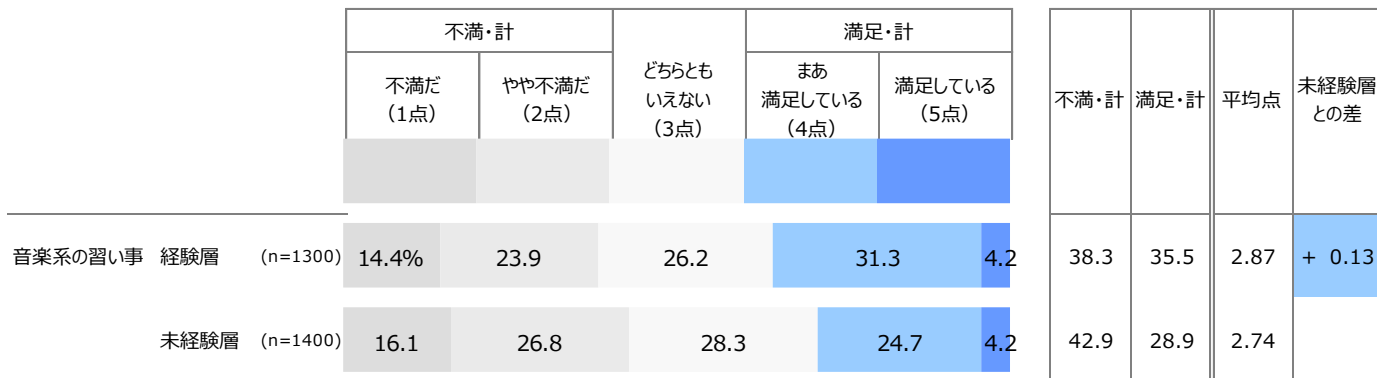
現在、あなたは実感としてどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。



※ t 検定（両側検定 有意水準 5%）の結果  
 + 1.00 : 差がプラスで有意 ▲ 1.00 : 差がマイナスで有意 Q3

■ **図2 生活満足度（全体／単一回答）**

あなたは全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。この中から 1 つお答えください。

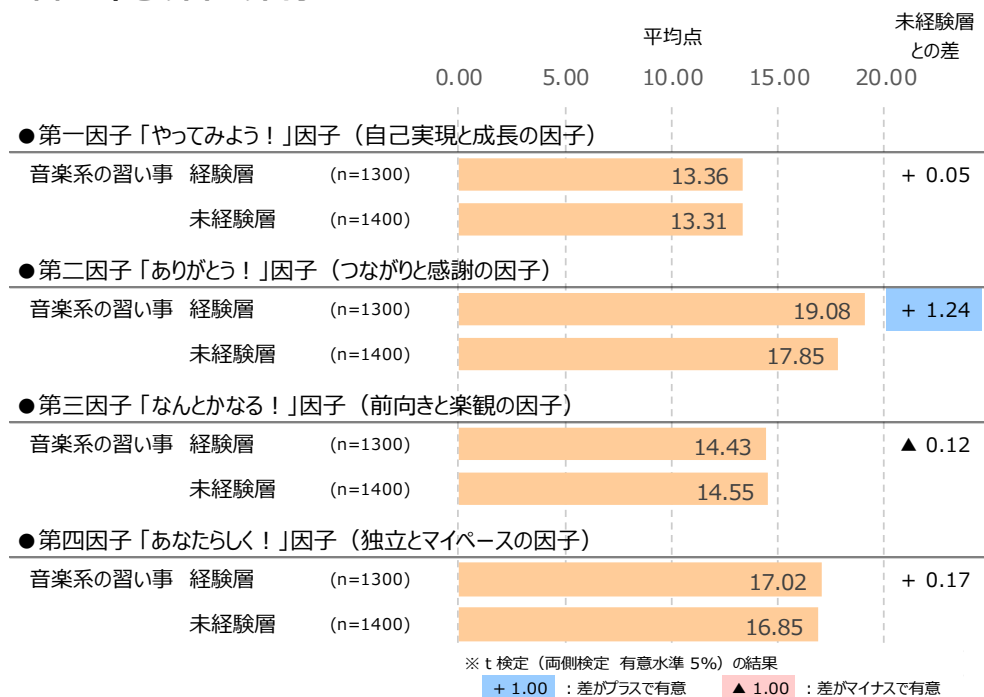


※ t 検定（両側検定 有意水準 5%）の結果  
 + 1.00 : 差がプラスで有意 ▲ 1.00 : 差がマイナスで有意 Q2

● **幼児期・児童期の音楽系の習い事経験者は非経験者に比べて、幸せに寄与する四つの因子のうち「ありがとう！」因子（つながりと感謝の因子）が高く、他者とのつながりと感謝の心を大事にし、周囲との安定した関係性を重視している。**

- 図3は慶應義塾大学 前野教授が提唱する幸せに影響する四つの因子について、音楽系の習い事経験層と未経験層の平均値を算出し図示したものである。
- 四つの因子のうち『第二因子「ありがとう！」因子（つながりと感謝の因子）』は音楽系の習い事経験層が未経験層に比べて有意に高い。

■ 図3 幸せの四つの因子



Q6

※得点は、各因子4項目の評価の合計得点。項目の詳細および平均点はp9を参照

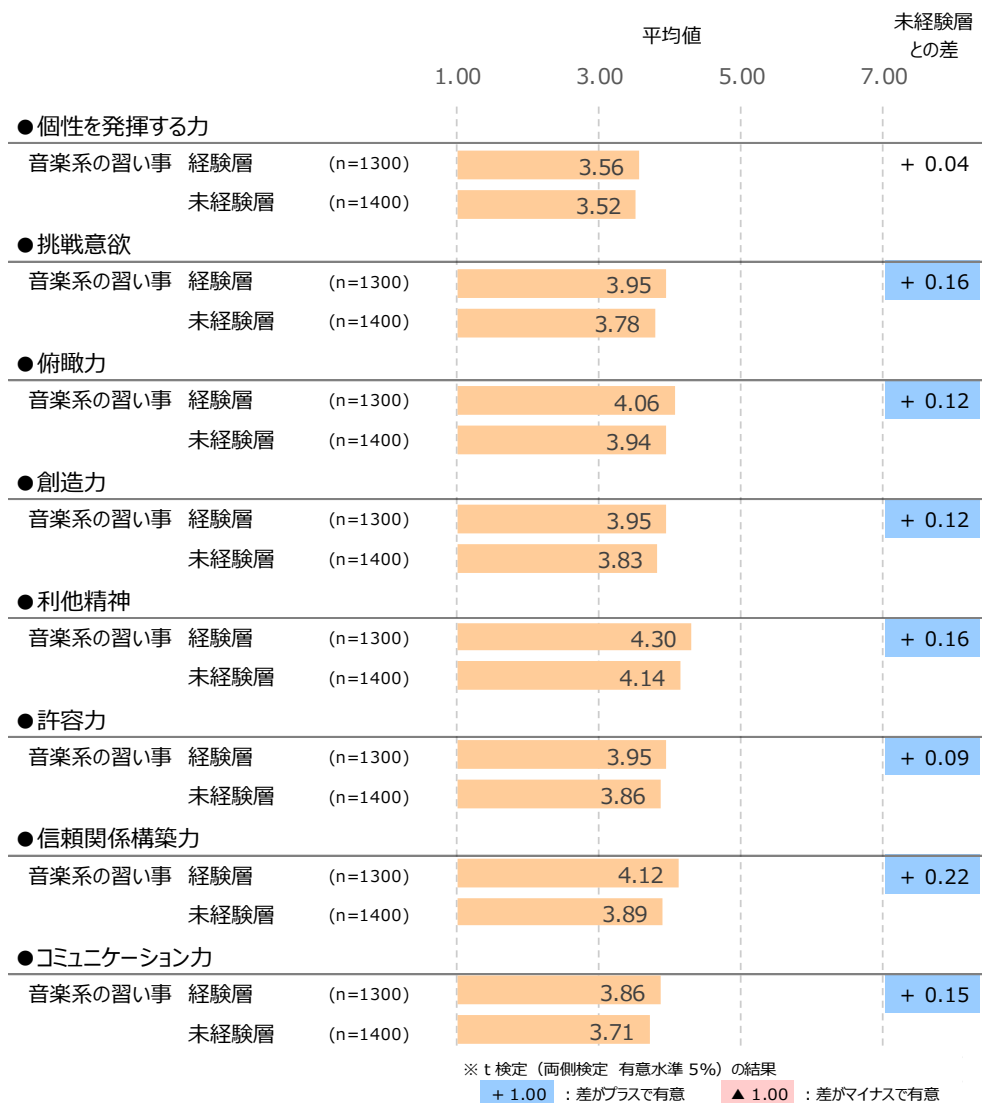
■ 参考 ～前野隆司 教授らによる幸福度に関する研究～

- 前野隆司, 幸せのメカニズム—実践・幸福学入門, 講談社現代新書, 2013年12月
- 前野マドカ, 加藤せい子, 保井利之, 前野隆司, 主観的幸福的4因子モデルに基づく人と地域の活性化分析—NPO法人「吉備野工房ちみち」のみちくさ小道を事例に—, 地域活性研究, Vol. 5, 2014年3月, pp. 41-50
- 篠田結衣, 前野隆司, 幸せカルタを用いた幸福システムデザイン法, 日本創造学会第35回研究大会, 2013年10月
- 佐伯政男, 前野隆司, 日本人の友人ペアにおける人生満足度の自己評定と他者評定の合致度, 日本パーソナリティ心理学会第22回大会, 2013年10月
- 佐伯政男, 蓮沼理佳, 前野隆司, 主観的well-beingとその心理的要因の関係, 日本心理学会第76回大会発表論文集, 2012年9月, 1PMB06

● **幼児期・児童期の音楽系の習い事経験者は非経験者に比べて、多様性適応力の8構成要素のうち7要素が高い。**

- 図4は慶應義塾大学 前野教授が提唱する多様性適応力（＝多様な人材が集まるなかでも自らの個性を發揮し物事を達成する力）の8構成要素について、音楽系の習い事経験層と未経験層の平均値を算出し図示したものである。
- 8構成要素のうち、『個性を發揮する力』を除く7つの要素において、音楽系の習い事経験層が未経験層に比べて有意に高い。

■ 図4 多様性適応力



Q8

※各要素は、複数の個別項目から構成され、得点は、それぞれ個別項目の評価の平均得点。  
 項目の詳細および平均点はp10～11を参照。

■ 参考 ～前野隆司 教授らによる多様性適応力に関する研究～

- 津々木晶子, 氏橋祐太, 白坂成功, 松崎英吾, 前野隆司, 多様性適応力評価尺度の開発と適用の試みー日本ブラインドサッカー協会のワークショップを対象としてー, スポーツ産業学研究, Vol. 25, No. 2, 2015年9月, pp. 277-291

- 図5は前ページの多様性適応力のうち、『創造力』を構成する個別項目について、音楽系の習い事経験層と未経験層の回答の結果を図示したものである。
- 平均点をみると、4項目のうち3項目で音楽系の習い事経験層が未経験層に比べて有意に高い。

### ■ 図5 多様性適応力：創造力（全体／各単一回答）

	全く あてはまらない (1点)	ほとんど あてはまらない (2点)	あまり あてはまらない (3点)	どちらとも 言えない (4点)	少し あてはまる (5点)	だいたい あてはまる (6点)	非常によく あてはまる (7点)	平均点	未経験層 との差
--	-----------------------	-------------------------	------------------------	-----------------------	---------------------	-----------------------	------------------------	-----	-------------

#### ● 人が思いつかないような斬新なアイデアを出すことが多い

音楽系の習い事	経験層 (n=1300)	7.5%	11.0	23.8	34.2	15.7	5.7	3.65	+ 0.13
	未経験層 (n=1400)	9.4	12.1	21.2	39.9	12.0	3.0	3.52	

#### ● 色々と工夫して新しい物を作り出す力を持っている

音楽系の習い事	経験層 (n=1300)	5.7	9.8	18.2	40.0	17.2	6.9	3.83	+ 0.20
	未経験層 (n=1400)	8.3	11.6	18.1	40.1	16.1	3.9	3.63	

#### ● 今までの価値観に捉われずに自由に発想することの大事さを知っている

音楽系の習い事	経験層 (n=1300)	2.8	3.0	14.2	34.6	29.2	10.7	5.5	4.38	+ 0.22
	未経験層 (n=1400)	4.6	6.2	12.7	38.9	25.2	7.7	4.8	4.16	

#### ● 他分野の事例を自分に結び付けて考えるのは得意だ\*

音楽系の習い事	経験層 (n=1300)	3.2	6.4	21.5	41.4	21.0	4.6	3.92	▲ 0.08
	未経験層 (n=1400)	4.0	7.0	16.8	42.1	20.9	6.0	4.00	

※ t 検定（両側検定 有意水準 5%）の結果

+ 1.00 : 差がプラスで有意 ▲ 1.00 : 差がマイナスで有意

Q8SQ13-16\_2

\* : 調査では下記の通り聴取している。

他項目と評価の得点を逆にして（「全くあてはまらない」ほど得点が高い）、表記を変更している。

解釈文

他分野の事例を自分に結び付けて考えるのは得意だ

原文

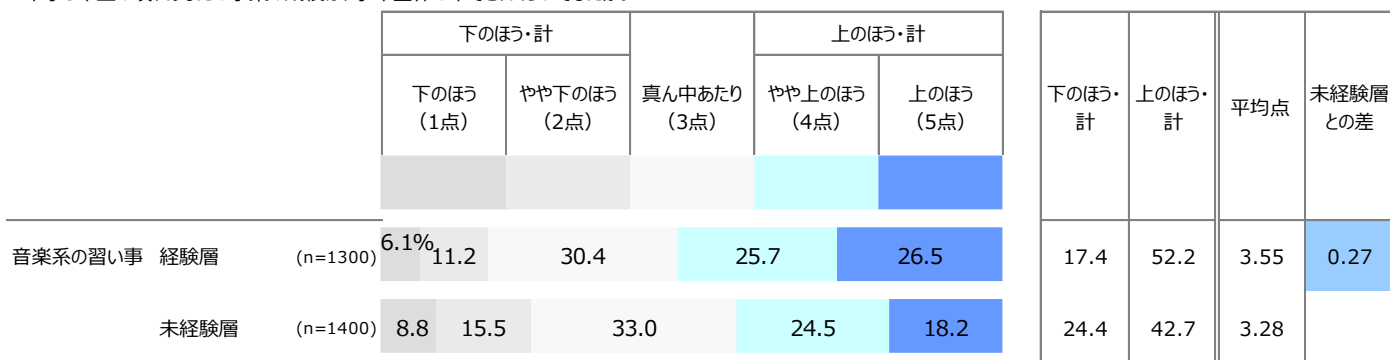
他分野の事例を自分に結び付けて考えるのは苦手だ

● **幼児期・児童期の音楽系の習い事経験者は非経験者に比べて、  
中学3年生の頃の学業成績が良い。**

- 図6は中学3年生の頃の学業成績について尋ね、回答に得点を与えて平均値を算出し音楽系の習い事経験層と未経験層を比較したものである。
- この結果、音楽系の習い事経験層は平均 3.55点であり、未経験層（3.28点）よりも0.27点有意に高く、音楽系の習い事経験層は経験していない層に比べて中学3年生の頃の学業成績がよかったといえる。

■ 図6 中学校での学業成績（全体／単一回答）

中学3年生の頃、あなたの学業の成績は、学年全体の中でどれくらいでしたか。



※ t 検定（両側検定 有意水準 5%）の結果  
+ 1.00 : 差がプラスで有意 ▲ 1.00 : 差がマイナスで有意

Q31

■ コラム ～音楽演奏経験者は成績がいい？～

Don Campbellの“Mozart Effect”（1996）以来、「音楽演奏経験者は学業成績がいい」という命題に対する学術上の論争が行なわれてきました。本アンケート調査では、「音楽系の習い事経験者は学業成績が良いと自己評価する傾向がある」という結果が得られていますので、「音楽演奏経験者は学業成績がいい」という可能性を示唆するものといえることができます。ただし、「音楽をすると成績が良くなる」のか、「成績がいい人が音楽を習いがち」なのかの解明は今後の課題です（前野教授）

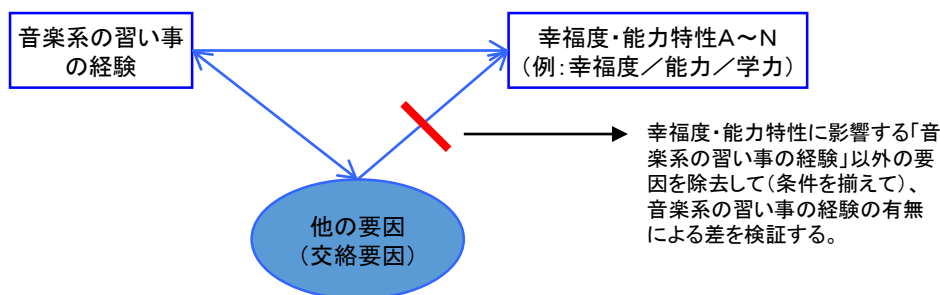


## ● 参考1 音楽系の習い事経験による差異に影響するほかの要因（交絡要因）の調整について

■ 本調査では、「音楽系の習い事による差異」に影響する他の要因（＝交絡要因）を調整して（条件を揃えて）、「音楽系の習い事」を経験する・しないによる差（因果関係）を検証した。

- 「音楽系の習い事」を経験した集団と経験しなかった集団を比べた時、経験した集団の方が幸福度が高い、だから「音楽系の習い事」は幸福度に寄与するといえるのか、という問題。そもそも特定の属性の人（例：ピアノ経験のある教育熱心な親）が「音楽系の習い事」に通わせる傾向があり、「音楽系の習い事」の効果と思っていたものが実際はもともと持っている属性の違いに過ぎなかったという、セレクションバイアスがありうる。このセレクションバイアスを調整して、条件の近い集団とした上で比較した。

■ 交絡要因概念図



- ・子供の頃の音楽環境
- ・他の習い事の実施状況
- ・小学校の学歴(公立・私立) など

- 交絡要因の調整は、『傾向スコアによる重み付け推定法』でおこなった。
  - 傾向スコアは、「音楽系の習い事」を経験する確率をあらわす。
- 調整に用いる傾向スコアは、下記の変数を用いたロジスティック回帰分析で算出し、IPW法により、交絡要因の調整を行ない、2層の「音楽系の習い事」を経験する確率が同程度になるようにした。
- 本調査では検定をおこなうため、さらに音楽系の習い事経験有無の2層が実際の調査数と同数になるようウェイトバックした。

### ◆ 目的変数：音楽系の習い事経験有無

#### 音楽系の習い事経験層

- 割付① ヤマハ音楽教室経験層
- 割付② ヤマハ音楽教室以外の音楽系の習い事経験層

#### 音楽系の習い事未経験層

- 割付③ 音楽系以外の習い事経験層
- 割付④ 習い事未経験層

※割付①～④は男女均等の回収。

### ◆ 説明変数（音楽系の習い事経験以外に差異に影響する要因）

- 子供の頃の音楽環境
  - 1 両親のいずれかがピアノなどの鍵盤楽器を弾いていた
  - 2 両親のいずれかがピアノ以外の楽器（ギターなど）を弾いていた
  - 3 両親のいずれかがよくクラシックのコンサートに行っていた
  - 4 両親のいずれかがよくポップスやロック、歌謡曲などのコンサートに行っていた
  - 5 両親のいずれかがよく自宅で音楽を聴いていた
  - 6 あてはまるものはない（※参照カテゴリ）
- 中学校までの習い事の種類の数
 

※「家庭の裕福度」と「家庭の教育熱心度」は交絡要因と考えられるが、幼少期の状況を回答してもらうのは困難なため、「中学校までの習い事の種類の数」を代替変数として設定した。
- 母親の職業
  - 1 専業主婦
  - 2 パート・アルバイト
  - 3 フルタイム
  - 4 自営業・自由業
  - 5 その他
  - 6 覚えていない・わからない・いない（※参照カテゴリ）
- 学校種別：小学校
  - 1 国立
  - 2 公立（県立・市立など）
  - 3 私立
  - 4 その他（※参照カテゴリ）

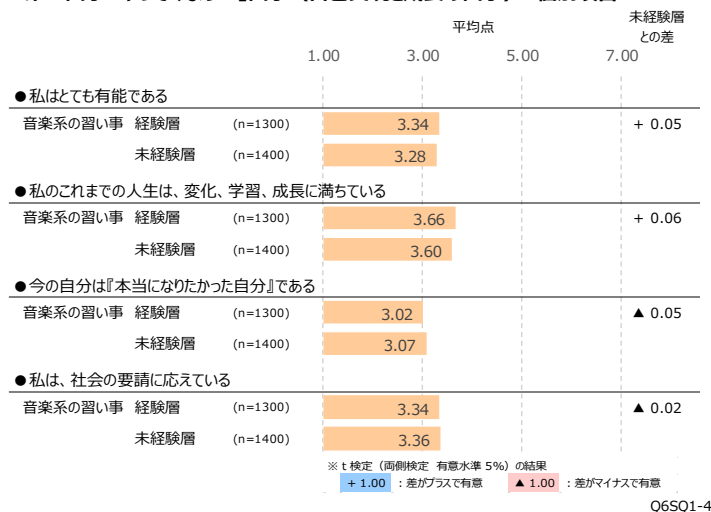
### ◆ 引用文献

星野崇宏, 繁樹算男. 傾向スコア解析法による因果効果の推定と調査データの調整について. 行動計量学 2004 ; 31:43-61.

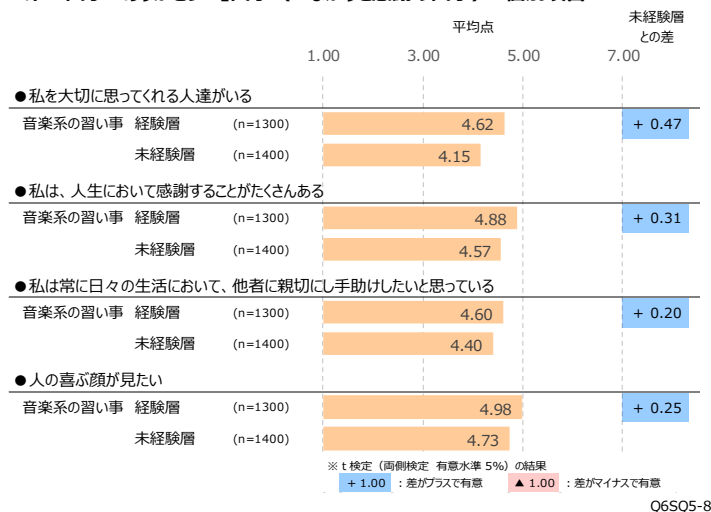


## ● 参考2 幸せの四つの因子 個別項目

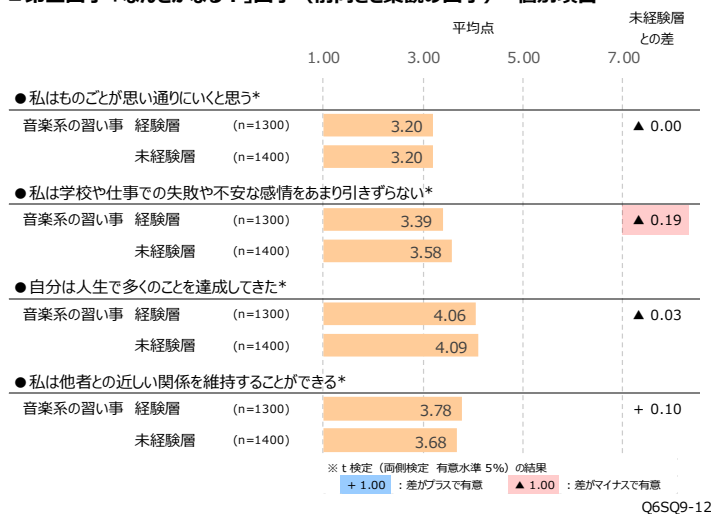
### ■ 第一因子「やってみよう！」因子（自己実現と成長の因子） 個別項目



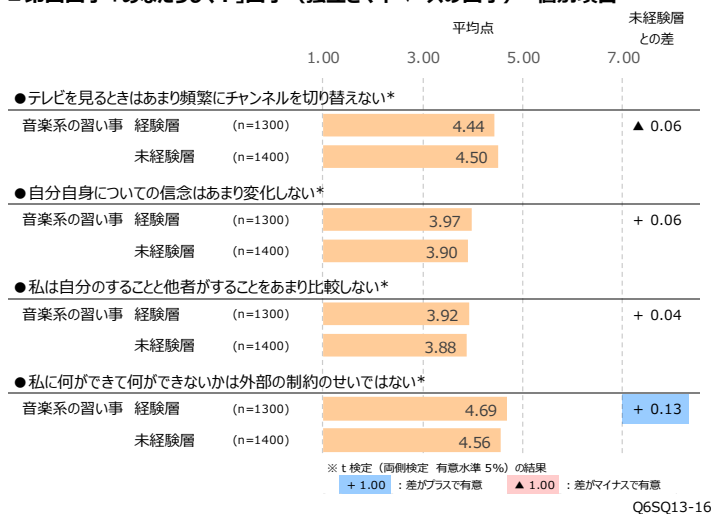
### ■ 第二因子「ありがとう！」因子（つながりと感謝の因子） 個別項目



### ■ 第三因子「なんとかなる！」因子（前向きと楽観の因子） 個別項目



### ■ 第四因子「あなたらしく！」因子（独立とマイペースの因子） 個別項目



### ■ 設問の選択肢と得点

#### ● 幸福因子 個別項目

- 7点 非常によくあてはまる
- 6点 だいたいあてはまる
- 5点 少しあてはまる
- 4点 どちらとも言えない
- 3点 あまりあてはまらない
- 2点 ほとんどあてはまらない
- 1点 全くあてはまらない

\* : 調査では下記の通り聴取している。

他項目と評価の得点を逆にしているため（「全くあてはまらない」ほど得点が高い）、表記を変更している。

解釈文

私はものごとが思い通りにいくと思う  
 私は学校や仕事での失敗や不安な感情をあまり引きずらない  
 自分は人生で多くのことを達成してきた  
 私は他者との近い関係を維持することができる  
 テレビを見るときはあまり頻繁にチャンネルを切り替えない  
 自分自身についての信念はあまり変化しない  
 私は自分のすることと他者がすることをあまり比較しない  
 私に何ができて何ができないかは外部の制約のせいではない

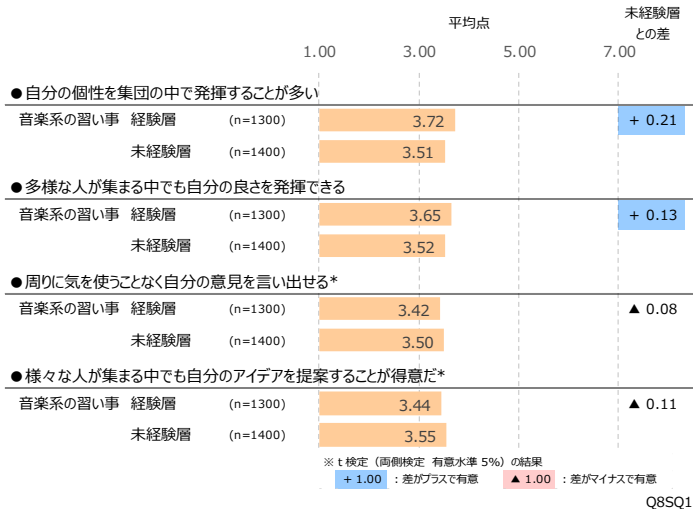
原文

私はものごとが自分の思い通りにいくとはほとんど思っていない  
 学校や仕事での失敗や不安な感情をプライベートの気分に持ち込んでしまうことがある  
 自分が人生で達成したことに多くの面で失望している  
 近い関係を維持することはとても難しく、またうまくいかなかった  
 テレビを見るとき私はチャンネルをあちこち切り替え、1つの番組を見ているときさえもしばしば他のチャンネルにざっと目を通す  
 自分自身についての信念は、しばしば互いに矛盾する  
 私は私のすることが他者のすることと比較して、どのようであるかを常に気に留めている  
 私に何ができて何ができないかは他人運にかかっている

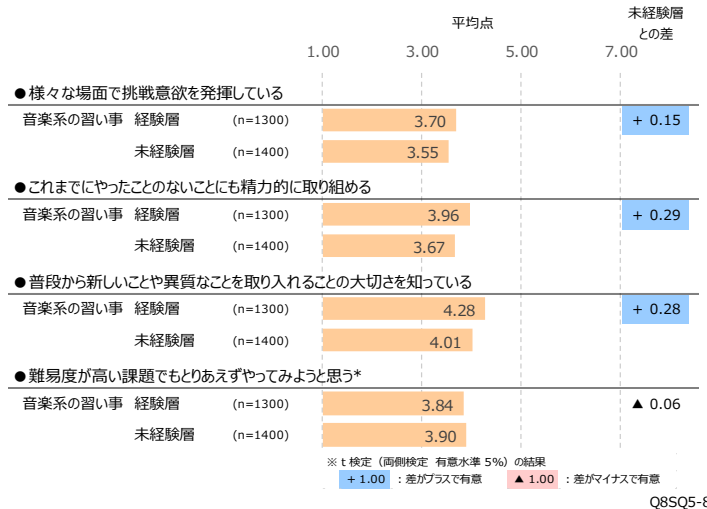
## ● 参考3 多様性適応力 個別項目

■ 多様性適応力の各要素は、複数の個別項目から構成されている。p6の得点は、それぞれ個別項目の評価の平均得点。

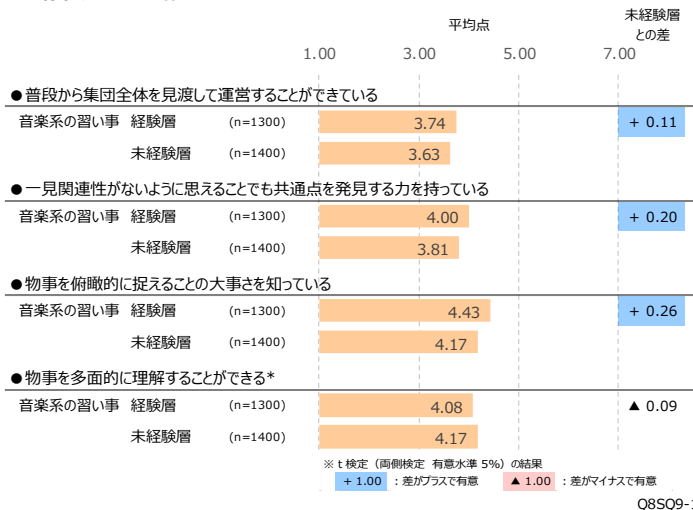
### ■ 多様性適応力：個性を発揮する力



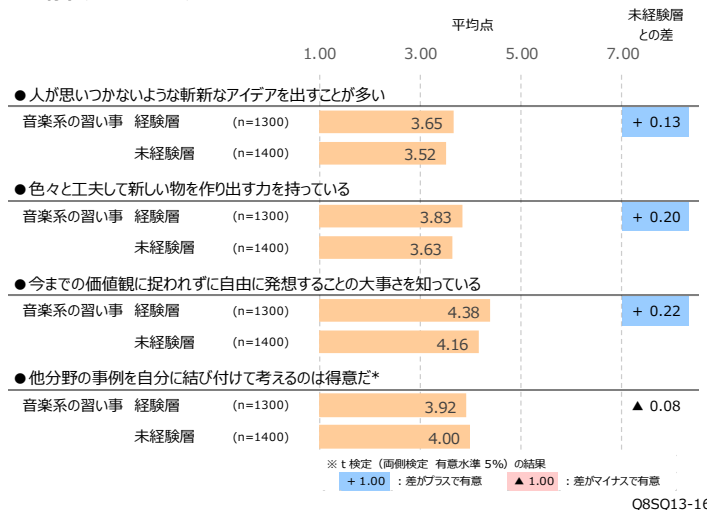
### ■ 多様性適応力：挑戦意欲



### ■ 多様性適応力：俯瞰力



### ■ 多様性適応力：創造力



## ■ 設問の選択肢と得点

### ● 多様性適応力

- 7点 非常によくあてはまる
- 6点 だいたいあてはまる
- 5点 少しあてはまる
- 4点 どちらとも言えない
- 3点 あまりあてはまらない
- 2点 ほとんどあてはまらない
- 1点 全くあてはまらない

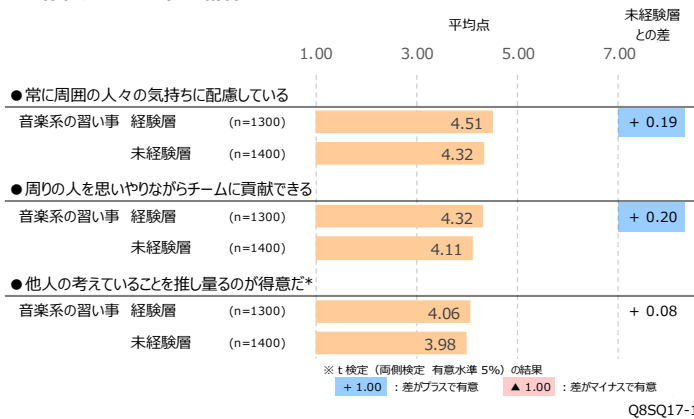
\* : 調査では下記の通り聴取している。

他項目と評価の得点を逆にしてしているため (「全くあてはまらない」ほど得点が高い) 、表記を変更している。

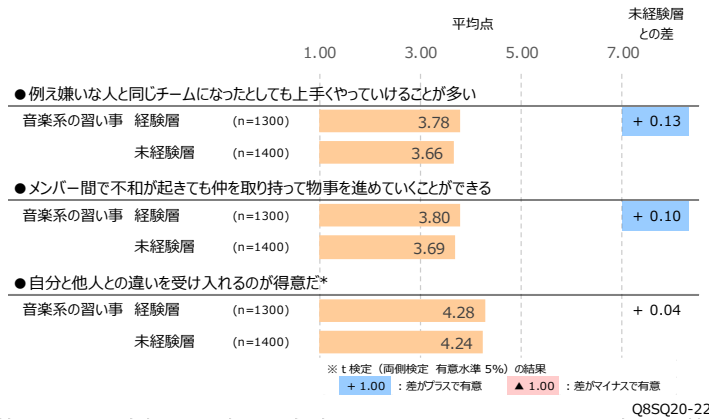
解釈文  
周りに気を使うことなく自分の意見を言い出せる  
様々な人が集まる中でも自分のアイデアを提案することが得意だ  
難易度が高い課題でもとりあえずやってみようと思う  
物事を多面的に理解することができる  
他分野の事例を自分に結び付けて考えるのは得意だ

原文  
周りに気を使いすぎて自分の意見を言い出せないことが多い  
様々な人が集まる中で自分のアイデアを提案するのが苦手だ  
難易度が高い課題をとりあえずやってみようとは思わない  
物事を一面的に理解してしまうことが多い  
他分野の事例を自分に結び付けて考えるのは苦手だ

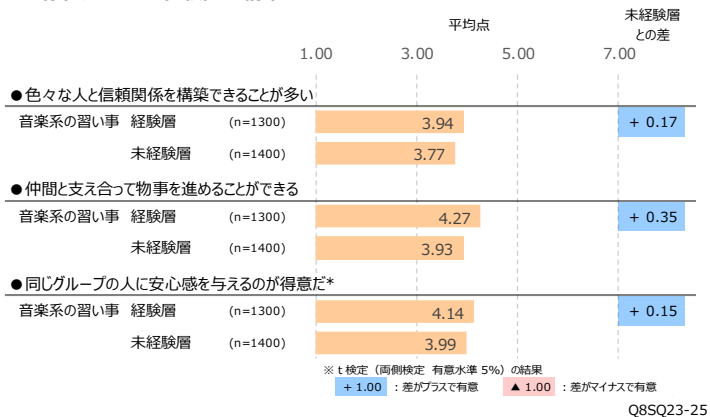
■多様性適応力：利他精神



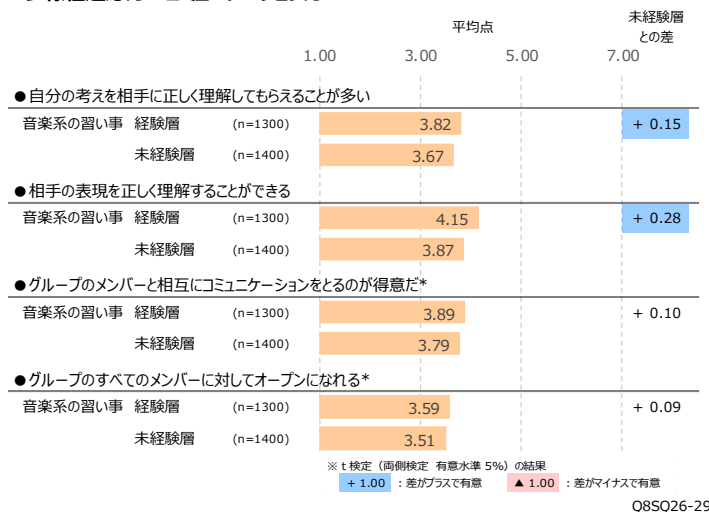
■多様性適応力：許容力



■多様性適応力：信頼関係構築力



■多様性適応力：コミュニケーション力



■設問の選択肢と得点

●多様性適応力

- 7点 非常によくあてはまる
- 6点 だいたいあてはまる
- 5点 少しあてはまる
- 4点 どちらとも言えない
- 3点 あまりあてはまらない
- 2点 ほとんどあてはまらない
- 1点 全くあてはまらない

\* : 調査では下記の通り聴取している。

他項目と評価の得点を逆にしてしているため (「全くあてはまらない」ほど得点が高い) 、表記を変更している。

解釈文

他人の考えていることを推し量るのが得意だ  
 自分と他人との違いを受け入れるのが得意だ  
 同じグループの人に安心感を与えるのが得意だ  
 グループのメンバーと相互にコミュニケーションをとるのが得意だ  
 グループのすべてのメンバーに対してオープンになれる

原文

他人の考えていることを推し量るのは苦手だ  
 自分と他人との違いを受け入れるのは苦手だ  
 同じグループの人に安心感を与えるのが苦手だ  
 グループのメンバーと相互にコミュニケーションをとるのが苦手だ  
 グループのすべてのメンバーに対してオープンになれないことが多い

## ● 参考4 習い事の経験別 ランキング

※参考4のデータは、各習い事経験者について単純にスコアを算出した結果である。育った家庭環境など交絡要因の調整はおこなっていないため、各習い事による差異とは言い切れない。

- 本調査における交絡要因の調整は、音楽系の習い事の経験についておこなっており、音楽系以外の習い事についてみると同様の調整を用いることは不適切と考えられる。よって、交絡要因の調整はおこなわず、単に各習い事経験者のスコアを算出しランキングとした。
- 上記の通り交絡要因の調整をおこなっていないため、他の習い事の影響は排除できておらず単独の差異とは言い切れない。
  - 例えば「習い事A」がランキングの上位であったとしても、同時におこなっていた他の習い事の影響を否定できず、「習い事A」単独の差異とは言い切れない。
- 同様に、家庭環境等による影響は排除できていない。
  - 例えば「習い事A」がランキングの上位であったとしても、「習い事A」を経験しやすい家庭環境で育った子供の幸福度が高いという可能性を否定できず、「習い事A」の経験によって高くなったとは言い切れない。

### ■ 中学校までの習い事経験別ランキング：幸福度（全体／単一回答）

現在、あなたは実感としてどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均点
1位	ヤマハ音楽教室 (n= 600)	3.2%	4.2%	8.8	9.0	18.8	15.3	16.5	12.5	4.2	4.7		5.59
2位	英語教室 (n= 450)	2.0	5.1	9.8	9.3	16.0	16.4	18.9	14.2	2.7	2.9		5.57
3位	体操・バレエ・ダンス・リトミック (n= 244)	2.0	8.6	7.0	10.2	16.0	18.4	15.6	11.9	5.3	3.3		5.56
4位	受験勉強をするための塾（進学塾） (n= 871)	3.2	2.1	9.2	10.0	16.4	15.4	16.9	14.2	3.9	2.5		5.49
5位	習字 (n= 773)	2.6	6.5	8.4	11.5	17.1	16.2	14.9	13.8	3.6	2.8		5.45
6位	スイミング (n=1192)	3.1	6.2	9.6	9.8	17.9	16.4	15.3	12.2	3.5	3.4		5.42
7位	サッカー・野球などの球技（団体） (n= 471)	3.2	5.7	12.7	8.5	16.6	16.6	15.5	12.1	4.5	2.8		5.41
8位	通信教育 (n= 739)	2.4	3.1	7.8	10.0	10.1	14.3	16.2	16.4	12.9	3.8	2.8	5.39
9位	進学塾以外の塾 (n= 667)	2.7	6.7	9.3	10.9	18.1	14.1	15.9	12.6	3.4	2.8		5.35
10位	ヤマハ音楽教室以外の音楽系 (n= 700)	2.3	3.3	8.1	9.1	10.1	17.3	15.1	15.4	13.3	3.6	2.3	5.34
11位	絵画・美術・芸術 (n= 118)	2.5	4.2	7.6	8.5	12.7	18.6	13.6	10.2	12.7	4.2	5.1	5.32
12位	空手・柔道などの武道 (n= 169)	4.7	4.1	8.3	11.2	5.3	13.6	14.8	17.2	12.4	4.7	3.6	5.30
13位	テニス・卓球・ゴルフなどの球技（個人） (n= 182)	6.6	3.8	8.2	9.3	9.9	11.5	11.0	18.1	13.7	4.9	2.7	5.20

Q3R

### ■ コラム ～音楽系以外の習い事も幸せになれる？～

本文にも記載されているとおり、このランキングは交絡要因を調整しておりませんので、それぞれの習い事単独の差異とは言い切れませんが、他の習い事をしている人も幸福度が向上する傾向がありそうです。そのため本調査の結果は、「音楽系の習い事だけが幸せになれる」という意味ではありません。（前野教授）

### ■ 中学校までの習い事経験別ランキング：生活満足度（全体／単一回答）

あなたは全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。この中から1つお答えください。

	n	不満・計			満足・計		不満・計	満足・計	平均点
		不満だ (1点)	やや不満だ (2点)	どちらとも いえない (3点)	まあ 満足している (4点)	満足している (5点)			
1位 ヤマハ音楽教室	(n= 600)	15.0%	21.3	23.5	35.2	5.0	36.3	40.2	2.94
2位 体操・バレエ・ダンス・リトミック	(n= 244)	15.6	20.9	24.6	32.4	6.6	36.5	38.9	2.93
英語教室	(n= 450)	14.2	23.6	21.6	36.7	4.0	37.8	40.7	〃
4位 空手・柔道などの武道	(n= 169)	19.5	18.9	20.1	33.7	7.7	38.5	41.4	2.91
習字	(n= 773)	14.5	22.3	25.5	33.2	4.5	36.7	37.8	〃
6位 受験勉強をするための塾（進学塾）	(n= 871)	14.6	23.8	23.0	34.7	4.0	38.3	38.7	2.90
7位 スイミング	(n=1192)	15.1	23.6	24.8	31.1	5.4	38.7	36.5	2.88
通信教育	(n= 739)	15.3	24.1	23.3	32.3	5.0	39.4	37.3	〃
9位 ヤマハ音楽教室以外の音楽系	(n= 700)	15.0	24.4	24.0	32.0	4.6	39.4	36.6	2.87
テニス・卓球・ゴルフなどの球技（個人）	(n= 182)	16.5	23.1	21.4	34.6	4.4	39.6	39.0	〃
11位 サッカー・野球などの球技（団体）	(n= 471)	14.6	27.2	21.0	31.6	5.5	41.8	37.2	2.86
絵画・美術・芸術	(n= 118)	20.3	16.9	28.0	25.4	9.3	37.3	34.7	〃
13位 進学塾以外の塾	(n= 667)	16.2	25.3	22.0	31.2	5.2	41.5	36.4	2.84

Q2R

### ■ 中学校までの習い事経験別ランキング：中学校3年生の頃の学業成績（全体／単一回答）

中学3年生の頃、あなたの学業の成績は、学年全体の中でどれくらいでしたか。

	n	下のほう・計			上のほう・計		下のほう・計	上のほう・計	平均点
		下のほう (1点)	やや下のほう (2点)	真ん中あたり (3点)	やや上のほう (4点)	上のほう (5点)			
1位 受験勉強をするための塾（進学塾）	(n= 871)	4.2%	9.5	25.0	30.8	30.4	13.8	61.2	3.74
2位 英語教室	(n= 450)	5.1	9.6	28.4	27.3	29.6	14.7	56.9	3.67
3位 テニス・卓球・ゴルフなどの球技（個人）	(n= 182)	7.7	8.8	27.5	23.6	32.4	16.5	56.0	3.64
4位 ヤマハ音楽教室	(n= 600)	6.0	10.5	26.5	28.3	28.7	16.5	57.0	3.63
体操・バレエ・ダンス・リトミック	(n= 244)	6.1	13.1	22.1	28.7	29.9	19.3	58.6	〃
6位 ヤマハ音楽教室以外の音楽系	(n= 700)	5.9	10.9	28.1	25.7	29.4	16.7	55.1	3.62
通信教育	(n= 739)	5.3	12.7	25.8	27.5	28.7	18.0	56.2	〃
8位 習字	(n= 773)	5.6	11.5	27.2	28.1	27.7	17.1	55.8	3.61
9位 スイミング	(n=1192)	6.4	11.3	28.8	26.4	27.1	17.7	53.5	3.57
10位 サッカー・野球などの球技（団体）	(n= 471)	5.1	13.4	31.0	24.0	26.5	18.5	50.5	3.54
11位 絵画・美術・芸術	(n= 118)	7.6	14.4	23.7	28.0	26.3	22.0	54.2	3.51
12位 空手・柔道などの武道	(n= 169)	7.7	10.7	36.7	22.5	22.5	18.3	45.0	3.41
13位 進学塾以外の塾	(n= 667)	8.7	13.9	30.9	27.3	19.2	22.6	46.5	3.34

Q31R